事　務　連　絡
平成２３年１０月５日

各都道府県衛生主管部局　御中

厚生労働省健康局結核感染症課

季節性インフルエンザワクチンの供給量について（第３報：１０月５日時点）

本年９月に、北里第一三共ワクチン株式会社（以下、「北里」という。）が製造中の季節性インフルエンザワクチン（以下「ワクチン」という。）の一部でトリレオウイルスの混入が確認されたことを踏まえ、今シーズンのインフルエンザワクチンの供給予定量を随時情報提供しているところです。

供給量の見込みが、前回の情報提供（９月 22 日）から更新されましたので、本日時点での供給量の見込みについて情報提供いたします。

今後とも、品質試験の結果等により供給量が変更となることもあり得ますので、引き続き、随時情報提供を行ってまいります。

記

インフルエンザワクチンの供給予定量（本日現在）：約 2,850 万本
（第２報（９月 22 日現在）：約 2,700 万本）

うち、北里の製造予定量　：約 353 万本
（第２報（９月 22 日現在）：約 242 万本）

※第 2 報からの変更の理由
- 北里を除く製造業者３社において、約 39 万本を増産予定。
- 北里において、約 120 万本のワクチンを追加生産予定。
（当該増産分の出荷時期は、平成 24 年１月を予定）
- 北里において、トリレオウイルス混入の形跡が認められた原液を除いたため、供給量が約９万本減少。

以上